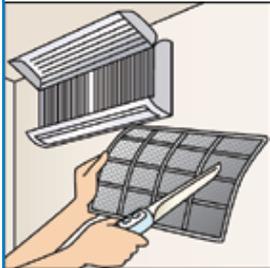


# 夏から冬へのお部屋のお手入れの仕方

お部屋にある冷房器具や扇風機、夏用の敷物など、冬に向けて片付ける際に掃除しておけば、来シーズンは気持ちよく使うことができますよね！また、夏に活躍してくれた網戸は秋のうちに掃除しておけば、寒くて大変な年末の大掃除ではさっと済ませることができます。

## 1 エアコンフィルターのお手入れ



目には見えないけれど、エアコンのフィルターには、ホコリやチリだけでなく、カビの胞子などもたまっていることがあります。フィルターが汚れたままでエアコンを使用すると、これらの汚れがまた室内を循環するので、とっても不衛生。シーズン中は、2週間に1度を目安に、フィルターをはずして、掃除機でホコリを吸い取るか、水洗いがおすすめ。水洗いしたら、よくすすいでから、陰干します。

### ひどい汚れは、洗剤でキレイに

汚れがひどいときは、スポンジに家具・住居用洗剤をうすめた液をつけて、洗いましょう。よくすすいでから、陰干してしっかり乾かしてください。

### ちょっとアドバイス！

こまめにフィルターのお掃除をすると、冷暖房効率が上がるので、電気代の節約にもなります。

★水洗いできないフィルターもありますので、取扱説明書を確認してから、お手入れしてください。

## 2 エアコン周りのお手入れ



吹き出し口やエアコンの外側は、家具・住居用洗剤を布にスプレーしてふく。手の届きにくいエアコンの上のホコリ取りには、柄が伸び縮みするモップがおすすめです。

## 3 ファンヒーターのお手入れ



空気のとりにれ口は、ホコリがたまりやすく、そのままにしておくと故障の原因にもなります。掃除機で、こまめにホコリを吸い取るのが基本。吹き出し口や全体のホコリをとったら、家具・住居用洗剤を布にスプレーしてふけば、手アカなどの汚れもきれいになります。

## 4 扇風機のお手入れ



(1)羽根、ガードなど、はずせる部分はずす。  
(2)モップで、全体のホコリをとる。  
(3)やわらかい布に、家具・住居用洗剤をスプレーし、残った汚れをふく。

(4)陰干して、しっかり乾燥させたあと、ホコリをよけるためにビニールなどをかぶせてしまう。

## 5 い草・すだれのお手入れ



普段は、い草やすだれの目に沿って、掃除機をかけるかモップにお掃除シートをつけてホコリをとります。

ときどき、天気の良い日に水ぶきをすると、サッパリします。布に家具・住居用洗剤のうすめ液を含ませ、かたくしぼってふきます。その際も、目に沿って。そのあと、乾いた布で清めぶきをしたら、よく風を通して、乾燥させればOKです。

★い草・すだれに、アルカリ性の洗剤をつけると、変色して元に戻らなくなるので、使わないでください。

次ページへ ▶▶



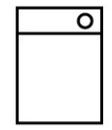
# 夏から冬へのお部屋のお手入れの仕方

お部屋にある冷房器具や扇風機、夏用の敷物など、冬に向けて片付ける際に掃除しておけば、来シーズンは気持ちよく使うことができますよね！また、夏に活躍してくれた網戸は秋のうちに掃除しておけば、寒くて大変な年末の大掃除ではさっと済ませることができます。

<h2>6 網戸の汚れ落とし</h2> <p>ふだんはあまりやらない網戸のお掃除。とりはずせる場合は、下の順序でかんたんにきれいにできますよ。</p> <p><b>【手順】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ガラス用洗剤をスプレーするか家具住居用洗剤をうすめた液（水2Lに対して家具・住居用洗剤40ml）をつくる。</li> <li>(2) スポンジやブラシで軽くこすり洗いをする。</li> <li>(3) ホースで水をかけ、スポンジや布などで水気をふきとる。</li> </ol>	<h2>網戸の汚れ落とし [汚れが軽い場合]</h2>  <p>とりはずせない場合でも、シートやスポンジを使って、下の手順でかんたんにきれいにできますよ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) モップの柄をはずし、持ち手の部分を直接ヘッドつけて短くする。</li> <li>(2) お掃除シートをつけて、内側、外側にホコリをとりのぞく。</li> <li>(3) ウエットタイプのお掃除シートをつけて、両側の汚れをとる。</li> </ol>
<h2>網戸の汚れ落とし [汚れがひどい場合]</h2> <p><b>【手順】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) モップの柄をはずし、持ち手の部分を直接ヘッドにつけて短くする。</li> <li>(2) お掃除シートをつけて、内側、外側の順にホコリをとりのぞく。</li> <li>(3) 大きめのウレタンスポンジに水を含ませ、水がたれない程度までキュッとしぼる。</li> <li>(4) スポンジにガラス用洗剤をスプレーして泡立て、泡を網戸に軽くふきのばす。</li> <li>(5) 水でしぼった布で、泡をふきとる。</li> </ol>	<h2>ちょっとアドバイス!</h2> <p>表面に凹凸のないガラスなら、布でふく代わりに、スクイジー（窓ガラス用のゴム製T字ワイパー）を使うと、手早くできます。</p>

<h2>7 窓ガラスのお手入れ</h2>  <p>ドロやホコリなどの部分的な汚れや、ひどい汚れがついている場合は、まず、布をゆるめにしぼり、ざっとふきとります。そのあと、ガラス用洗剤をスプレーし、乾いた布でふきましょう。すりガラスや模様ガラスの場合には、表面に凹凸があるので、凹部に入りこんだ汚れが、ふいただけでは残ってしまって、白くなることがあります。そんなときは、スプレーしたら、古い歯ブラシなどでこすり、あとは水でしぼった布でふけば、きれいになります。</p>
---

<h2>8 サッシの溝のお手入れ</h2> <p>まず、掃除機に、細口ノズルをつけて、ホコリを吸い取るか、モップの先でホコリのゴミをとります。手の届きにくい溝のお掃除は、柄の伸び縮みするタイプのモップが便利です。</p> <p>そのあと、割りばしの先に布を巻いて、家具・住居用洗剤で少し湿らせてからふきとれば、汚れもきれいにとれます。窓をふいたついでに、ガラス用洗剤で拭いてもOK。</p>
---

<h2>9 ラグマットのお手入れ</h2> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>洗濯機洗いOK</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>手洗い洗濯OK</p>  </div> </div>	<p>■「洗濯機マーク」か「手洗いマーク」を確認</p> <p>まず、取扱い絵表示をチェックしましょう。下の絵表示や「洗える」という表示がついていたら、水洗いOKです。</p> <p>★表示がついていなかったり、「水洗い不可マーク」がついていたら、色落ちや縮み、風合いを損ねることがあるので、家庭で洗うのは控えます。</p>
--	--

